

大手電機メーカーを源流に グローバル企業を目指す

海外
発注可
オンリー
ワン技術
量産
対応



国内シェア90%の温水洗浄便座用漏電遮断器

業務内容 遮断器事業・生産技術力を 活かしたEMS事業

旭東ホールディングス(株)からの事業承継で平成30年に設立した同社の製品は、開閉機器(配線用遮断器)を主力に、温水洗浄便座や給湯器、自動販売機、家庭用燃料電池まで、さまざまな商品に採用されている。なかでも温水洗浄便座向けは国内で90%超のシェアを誇る。鳥取県に3工場のほか中国に2拠点・3工場、平成29年に完成したベトナム工場を展開し、EMS事業(電子機器受託製造サービス)も手がけている。最近では製品開発力を強化し、OEM(相手先ブランド生産)からODM(製品開発受託)やOBM(自社ブランド製造)化を目指しているという。

強み 治具だけでなく ラインシステムも内製化

創業者の前田茂氏は、松下電器産業(株)(現パナソニック(株))の幹部として、二股ソケットの開発に携わった技術者だ。その流れから、現在では社内の生産技術部門が設備や治具はもちろん、ロボットの動作プログラミングや生産管理システムまでを内製化している。機械に不具合が起きてもすぐに復旧でき、ライン全体で最適化を図りやすいのが強みだ。また、顧客とは設計時から密に連携することで、多品種の製品でも部品の共通化を進めている。このことは同社にメリットがあるだけでなく、「顧客からも不良率が低いと喜ばれている」と評判だ。

新たな挑戦 高い設計力を発揮 パートナー企業を招き

同社は現在、海外拠点の設計能力強化を推進している。中国では人件費が高騰して

いるものの価格への転嫁は容易ではないため、一部の仕事をベトナム工場(ドンナイ省)に移して対応。顧客と密着して設計から製造までを一貫して引き受け、価格競争の世界から脱却を目指す。

日本や中国・広州では事務所の一角に他社が人居するスペースを設け、開発で連携を深めている。中国を拠点に生産を行う自動車メーカーおよび開発パートナーと協力し実を結びつつあるのが、自動車の車内にあるスイッチだ。共同で設計しており、メーカーの要望に応えている。

今後の展望 日本の品質基準を基本に 海外事業の発展へ

平成30年7月に持株会社制(HD制)へ移行。同31年4月には香港の統括会社が中国3工場とベトナム工場に加え、日本の電気器具製造販売事業までも管轄下に置く体制を予定している。「日本で開発した製品は機能が過剰なものもあり、そのまま持ち込んでも売れない」と、北村文秀社長は危機感をあらわにする。そこで海外現地の開発強化を後押しするためにも、HD制ではあえて日本と海外を同列にした。一方、「日本の高い品質基準が海外でも基本となる」としており、日本の拠点は製造や開発のマザー機能として、けん引役とする構想だ。

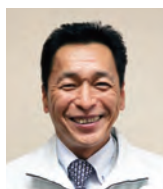


電子機器など受託製造も手がける



平成29年完成のベトナム工場

当社の歴史



創業者の前田茂は「松下電器産業(株)」の幹部で、戦時中は「松下飛行機(株)」で開発・生産に携わっていました。戦後の解散により松下電器を離れることを余儀なくされ、その後に設立したのが当社です。遮断器で培った技術を生かし、EMS事業に取り組んでいます。

代表取締役社長 北村 文秀さん

<http://www.kyokuto-elec.co.jp/>

全国29
ISO 9001
ISO 13485
ISO 14001

主な事業内容

配線用遮断器、EMS事業
(車載、電池パックなど)

主な取引先(納入先)

TOTO(株)、(株)LIXIL、
オムロン(株)、パナソニック(株)、
富士電機(株)ほか

- 住 所 〒535-0022
大阪市旭区
新森6-2-1
- T E L 06-6952-2071
- F A X 06-6952-2307
- 創 業 立 昭和20年11月
平成30年7月
※持株会社より移行
- 資本金 9,900万円
- 従業員 320名